



IGC

事務局ニュース

No. 8

第29回IGC事務局

Tel: 0298-54-3627
Fax: 0298-54-3629

会場実行委員会スタート

4月10日、枝垂れ桜が満開な京都宝ヶ池公園のほりにある国立京都国際会館で、IGC-92の会場見学を兼ねた会場関係合同委員会がひらかれました。東京・京都・大阪を中心とした関係機関から約20名の方々が集まり、当会館の担当の方の案内で、メインホールや宴会場、シンポジウムやポスターセッションの会場、そして隣接するイベントホールの見学が行われました(写真)。

この建物は1966年に開館したのですが、伝統的な合掌造りの様式をベースとした鉄骨コンクリート6階建ての外観は、周囲の自然を圧倒する様な威容でそびえてみえます。しかし内装は、本造の壁と石庭の波をあしらった厚いカーペットを基調とし、昨今のモダンなホールより落ち着いた雰囲気を感じさせるものでした。

会議中は、ほぼ全館借り切る予定ですが、これからプログラムの編成と合わせて、部屋の割当てが検討されることとなります。

見学の後、佐藤組織委員長、西村会場小委員長や坂野科学プログラム小委員会委員から、現在の準備状況が説明され、引きつづいて西村小委員長の提案で、主に京都・関西の会場関係の各小委員会メンバーを中心とした実行委員会をスタートさせることが決定されました。

日本地質学会シンポジウム“第29回 IGC 京都について”

去る4月3日、横浜国立大学で開かれた日本地質学会第97年討論会において、標記シンポジウムが開催されました。佐藤組織委員長はじめ、久城育夫・諏訪兼位・西村進の各小委員長より、現在の準備状況についての説明がされた後、石原舜三事務総長の司会で総合討論が行われました。討論の中で、石原氏は、「財政収入の中で募金は大きな比重を占めることになるが、楽観的ではないが、悲観していない。また、サーキュラー・アブストラクト・プロシーディングス以外には今のところ出版の計画はないが、意見があったら提案してほしい」と述べました。また諏訪氏は、「巡検ガイドブックについては財政的補助が必要だ」と述べました。参加者はおよそ50名でした。

ファースト・サーキュラー配布中

3月末日に、ファースト・サーキュラーが発行されました。入手ご希望の方は、官製はがきに

1. 氏名
2. 連絡先住所(電話番号)
3. 部数

を明記して、事務局あてにお送り下さい。なお、電話またはFaxでのお申し込みはご遠慮下さい。

[連絡先] 〒305 筑波学園郵便局私書箱65
IGC-92 事務局

